



*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 47 No. 3
June 2022**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース

Contents

日本毒性学会からのお知らせ	
2022 年度年会費の納入のお願い	25
社員総会開催のご案内と出欠票（委任状）提出のお願い	26
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第 3 報）	27
第 25 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験	29
日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書	31
認定試験受験資格のための評点表	33
第 49 回日本毒性学会学術年会のご案内（第 6 報）	35
第 48 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	38

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

2022 年度年会費の納入のお願い

一般社団法人 日本毒性学会
社員（一般会員及び学生会員）各位

日本毒性学会定款第 11 条（会費）に基づき、2022 年度の会費（2022/5～2023/4）の納入を受け付けております。会費は日本毒性学会の運営・活動の原資となりますので、年会費の納入をお願いいたします。

2022 年度 一般社団法人日本毒性学会 年会費

- 一般会員：9,000 円
- 評議員：12,000 円
- 学生会員：3,000 円

※ 2021 年度より一般会員、評議員については年会費が値上げされています。

※ 本会の事業年度は 5 月 1 日から翌年 4 月 30 日までですが、年会費の請求は前年度の第 4 四半期（2 月～4 月）となっております。

評議員および一般・学生会員は、会員専用マイページの会費納入状況のページより年会費のクレジットカード決済が可能となっております。2021 年度以前の未払いの年会費についても、同様の手続きでクレジットカード決済が可能です。

ログイン URL：<https://area31.smp.ne.jp/area/p/mdkj9lfes8mjqt9/g7DahB/login.html>

従来どおり郵便振込による会費納入も可能です。振込先口座情報もマイページの会費納入状況のページ画面にてご案内いたしておりますので、そちらをご参照ください。

なお、5 月末日までに会費納入が確認できなかった会員には、6 月以降に郵便振込用紙を郵送します。

ご対応の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本毒性学会
理事長 菅野 純
総務委員長 高橋 祐次

社員総会開催のご案内と出欠票（委任状）提出のお願い

一般社団法人 日本毒性学会
社員（一般会員及び学生会員）各位

平素より日本毒性学会の活動、運営にご協力を賜り御礼申し上げます。

定款第4章に定められておりますように「社員総会」を、2022年学術年会期間中に開催いたします。ご承知のとおり、本学会は2014年（平成26年）5月1日に一般社団法人となり、重要な案件は社員総会において決定されます。社員（一般会員及び学生会員）各位におかれましては、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

また、ご出席・ご欠席に係わらず「出欠票（委任状）」を、電磁的総会出欠（委任状）回答システムにより事前にご提出下さい。

社員総会の決議には、定款第24条に定められておりますように、総社員（一般会員及び学生会員）の議決権の「過半数」を有する社員の出席が必要です。定足数に満たない場合は社員総会として成立しなくなり、重要な議決事項が決定できず、本学会の運営に大きな支障を来すこととなります。社員総会にご欠席される場合には、必ず委任状をご提出されますよう、重ねてお願い申し上げます。

また、お近くの会員の方に、社員総会へのご参加または委任状のご提出をお勧めくださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。

記

2022年度 一般社団法人日本毒性学会 社員総会
日 時：2022年7月1日（金）13時10分～14時50分
場 所：第49回日本毒性学会学術年会 第1会場
（札幌コンベンションセンター 特別会議場）
議 案：1. 2021年度事業報告および収支決算
2. 2022年度事業計画および収支予算
3. その他

以上

2022年 6月
一般社団法人日本毒性学会
理事長 菅野 純

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第3報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会は、トキシコロジーに関する知識（基礎知識）を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会として位置付けすることを基本方針として開催いたします。

「第25回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. 日 時

2022年11月20日（日）/予備日:11月27日（日）
台風等の自然災害により11月20日に試験開催が困難であると判断した場合に、予備日に実施します。なお、試験開催を延期する場合には、2日前（11月18日17時）までに受験者へご連絡いたします。

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス

3. 受験料

30,000円

4. 出願期間

2022年7月19日（火）～9月12日（月）消印有効

「認定トキシコロジスト資格の更新」

2002年、2007年、2012年、2017年に認定トキシコロジストに認定された方となります。詳細は2022年4月頃にメールをお送りいたしますのでご確認ください。

毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

「認定トキシコロジスト試験問題作成依頼について」

資格更新のための試験問題作成の依頼は6月上旬、締め切りは8月中旬を予定しています。なお、可能な限り、2018年5月発刊の「第3版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。その他、詳細につきましては、2022年6月にご案内いたします。

「第25回日本毒性学会基礎教育講習会」

本講習会はトキシコロジストの系統的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。また、トキシコロジー全般にわたる理解を深めたいという、日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役立て下さい。講習は動画配信形式で2022年4月26日（火）～認定トキシコロジスト試験前までの期間で実施中です。

「第23回日本毒性学会生涯教育講習会」

本講習会では、学習フレームを、①トピック、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としていきます。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応について基礎メカニズムから社会的に最新の毒性学の話題を含め深く学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には6月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日 時

2022年6月30日（火）～7月11日（月）

2. 形 式

オンデマンド動画配信

3. プログラム

1) トピックス SOT2022

猫本 千波 先生 (塩野義製薬株式会社)

「AM05 : Importance of Sexual Maturity and Reproductive Senescence in Laboratory Animal Models」

坂口 泰子 先生 (協和キリン株式会社)

「PM09 : Leading-Edge Microbiome Methods for Toxicological Applications」

2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー： “マイクロ/ナノマテリアル粒子による影響”

石橋 弘志 先生 (国立大学法人愛媛大学大学院)

「PFASs による環境汚染と毒性影響評価 (仮)」

高橋 祐次 先生 (国立医薬品食品衛生研究所)

「粒子毒性学 基礎」

中山 祥嗣 先生 (国立研究開発法人国立環境研究所)

「PFAS の健康影響：疫学調査とメカニズム研究」

美谷島 克宏 先生 (東京農業大学)

「非病理担当者のための病理学講座～今さら聞けない特殊染色で何が分かるか (仮)」

4. 参加費

会 員	5,000 円
非会員	7,000 円
認定トキシコロジスト	3,000 円

*領収書につきましては、参加証と一緒に送付いたします。宛名のご指定がある場合は、申込時に入力下さい。

*キャンセルに伴う返金に関しては、納入済み受講料の返金は原則としていたしませんのでご了承下さい。

*申込者ご本人のみの受講となります。

*録画・録音・撮影、及び資料の二次利用は固くお断りいたします。

第 25 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験

日本毒性学会

教育委員会委員長

鈴木 睦

認定試験小委員会委員長

福島 民雄

下記の要領で認定試験を実施いたします。

受験希望者は毒性学ニュースまたは学会ホームページに掲載の「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」を熟読の上、出願して下さい。

出願時に提出された書類に基づく書類審査で上記規程に記載されている一定の基準に達しない場合は、認定試験を受けることができませんので出願に際してはこの点に十分に気をつけて下さい。

書類審査で受験資格が認められた場合、試験日の10日前までに受験票をご本人宛送付いたします。試験当日は必ず受験票を持参して下さい。

日本語・英語のいずれか言語での受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. 日 時

2022年11月20日(日) / 予備日: 11月27日(日)
台風等の自然災害により11月20日に試験開催が困難であると判断した場合に、予備日に実施します。なお、試験開催を延期する場合には、2日前(11月18日17時)までに受験者へご連絡いたします。

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス
(東京都品川区旗の台1-5-8)
* 東急池上線・大井町線
旗の台駅東口下車 徒歩5分

3. 出願期間

2022年7月19日(火)～9月12日(月) 消印有効

4. 出願書類

- 1) 願書と受験者確認票、申込受付自動返信メール
- 2) 写真2枚(縦3.5cm × 横3cm) ※6ヶ月以内のもの(願書と受験者確認票の所定欄に貼付)
- 3) 認定試験受験資格のための評点表および証明資料
出願時には次のことにご注意下さい。
・ 会員歴: 出願時にJSOTの会員であること
・ 研究歴
詳細は「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」をご覧ください。出願書類は記録の残るもの(書留、信書便等)でお送り下さい。

5. 受験料

30,000円(下記の郵便振替口座にお振込の上、払込票のコピーを出願書類に同封下さい)
銀行: みずほ銀行
支店: 麹町支店(021)
口座番号: 普通 1348658
口座名義: 一般社団法人日本毒性学会
※領収書につきましては、振込時の振替払込請求書兼受領証にかえさせていただきます。
(通信欄に会員番号を明記下さい)
※出願が受理されますと、受験料は認定試験を受験しなくても返還できませんので、ご注意ください。

6. 出願書類送付先・問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局
認定試験小委員会
〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル
(株) 毎日学術フォーラム内
TEL. 03-6267-4550 E-mail: jsotq@jsot.jp

----- 切 り 取 り 線 -----

第 25 回日本毒性学会 認定トキシコロジスト認定試験受験者確認票

写真貼付欄
※6ヶ月以内のもの

受験番号

氏 名

(氏名をご記入下さい)

日本語受験 英語受験 (希望する方に✓を入れてください)

Application Form Guidance Notes about the 25th Certification Examination for Diplomate of the JSOT

The Japanese Society of Toxicology (JSOT)

Chair of Education Committee: **Mutsumi Suzuki**

Chair of Certification Examination Subcommittee: **Tamio Fukushima**

We would like to inform you that the 24th certification examination for the diplomate of the JSOT will be conducted in the following manner:

Applicants are requested to submit application documents after careful reading of "Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)" presented in Toxicology News or on the homepage of the society.

If you do not reach the prescribed level at the screening of application documents shown in the above regulations, you cannot take the certification examination. Therefore, please take a great care for applying.

When you are qualified for the certification examination, we will send you an admission ticket no later than 10 days prior to the examination. You must bring the admission ticket to the examination.

You can take the certification examination in English from this time. If you want to do so, please check the box of requesting the examination in English in the application form. The 24th Certification Examination is going to be conducted according to the following schedule to minimize the risk of current pandemic.

1. Schedule

Scheduled examination date:

November 20, 2022 (Sunday), 9:45 to 17:00

Postponed examination date:

November 27, 2022 (Sunday), 9:45 to 17:00

2. Venue of the examination

Building 2, Hatanodai Campus of Showa University (1-5-8 Hatanodai, Shinagawa-ku, Tokyo)

* Take Tokyu Ikegami Line or Oimachi Line, then get off at East Exit of Hatanodai Station and walk for 5 minutes.

3. Application period

Open from July 19 (Tuesday), no later than September 12 (Monday), 2022

4. Application documents

- 1) The application form and the examinee's identification form (found in the bottom of this document)
- 2) 2 face photos* (3.5 cm height × 3 cm width)
(Should be attached to the appropriate spaces of the applica-

tion form and the examinee's identification form.) *Within 6 months

- 3) The score sheet of eligibility for admission to the certification examination form and supporting documents for eligibility scoring

Please make sure the following prerequisites for the examination application:

- Member history: applicants must be JSOT members at the time of application

- Length of research experiences in the related field

Detailed information is provided in the Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT). You are expected to send application documents by a method that are trackable and signature-required (e.g., registered mail, confidential correspondence delivery).

5. Examination fee

¥30,000

Please remit to the following postal transfer account and enclose a copy of the Payment Slip with the application documents:

Postal Transfer Account No: 00150-9-426831

Subscriber's name: The Japanese Society of Toxicology

* Transfer Payment Invoice and Receipt will be used as a receipt of the examination fee.

(Please write Membership No. in the message column of the Payment Slip.)

Examination fee is non-refundable whether you take the examination or not, once application is accepted.

6. Mailing and contact information for application submission

Attn: Certification Examination Subcommittee
Bureau of The Japanese Society of Toxicology

Address:

Mainichi Academic Forum Inc.

Palace Side Building,

1-1-1, Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0003, Japan

Phone: +81-3-6267-4550 Fax: +81-3-6267-4555

E-mail: jsotq@jsot.jp

C u t o f f l i n e

Examinee's Identification Form for the 25th Certification Examination for Diplomate of the JSOT

Please paste your
recent face photo
within 6 months

Examinee's No. _____

Name _____

(Please fill-in your name)

Examination in: English Japanese

(Please check the language in which you want to take the exam)

日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書

年 月 日提出

ふりがな
氏名： _____

会員番号： _____

生年月日： 西暦 年 月 日 (歳)

所属機関： _____

職名： _____

学歴：

写真貼付欄
※6ヶ月以内に
撮影したもの

高等学校卒業
 短期大学等卒業
 4年制大学等卒業
 6年制大学等卒業
 (該当する□にチェック)

卒業年	学校名および学部学科等
西暦 年 月	
西暦 年 月	
西暦 年 月	
卒業後 年 カ月	

注：大学院を含まない

毒性学関連の職歴および大学院等における毒性学関連の研究期間：

期間 (西暦)	年数	職歴 (企業名), 大学院等
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
通算 年 カ月	注：修学期間, 就業期間および研究実績期間の重複は多重に計上しない	

*受験する言語の選択： 日本語版 英語版

*受験票送付先： 所属機関 自宅

〒

住所：

電話：

FAX：

E-mail：

(お持ちの方は必ずご記入下さい)

*緊急連絡先：

Diplomate of the JSOT Certifying Examination Application Form

Submission date: / / (MM/DD/YYYY)

Name: _____

Membership No.: _____

Date of birth: / / (MM/DD/YYYY) (years old)

Affiliated institution: _____

Job title: _____

Please attach your
recent face photo
within 6 months

Education: Graduated from the following:

(excluding graduate school degrees which should be included in the next section)

High school Junior college 4-Year university 6-Year university

(Please check the appropriate box.)

Year of graduation	Names of the school, faculty, department, etc.
/ (MM/YYYY)	
/ (MM/YYYY)	
/ (MM/YYYY)	
year(s) and month(s) after graduation	

Toxicology-related work histories and research experiences at graduate schools:

Period	Duration	Research experience (e.g., Company, graduate school)
/ (MM/YYYY) to / (MM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MM/YYYY) to / (MM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MM/YYYY) to / (MM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MM/YYYY) to / (MM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MM/YYYY) to / (MM/YYYY)	year(s) and month(s)	
Total *: year(s) and month(s)	*Note: Please avoid overlap among each period.	

* Do you want to take the examination in English or Japanese? English Japanese

* Preferred address to send the examination admission slip: Affiliated institution Home

Zip code:

Address:

Phone:

Fax:

E-mail:

* Emergency contact (Name/Phone):

認定試験受験資格のための評点表

「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」の付表（脚注に注意）を参考に自己採点の上，下表（評点表）の該当箇所に評点を記入して下さい。

なお，下表中の論文についてはそのコピーを，学会等参加については参加証のコピーを，学会等発表については学会開催年を付記した講演要旨のコピーを，また，講習会については参加証のコピー（基礎講習会は受講証）を，それぞれ証明資料として添付して下さい。

（評点表にも忘れずに氏名と所属機関をご記入下さい）

氏 名：

所属機関：

種 別	評 点 項 目	評 点
論 文	毒性学関連論文 ^{1),2)}	
学会活動	発表 ¹⁾	
	JSOT 学術年会	
	参加	
	発表 ¹⁾	
	毒性学に関連する学会 ³⁾ の学術年会	
	参加	
講習会等	基礎教育講習会（受講証）	
	JSOT 主催・公認講習会 ⁴⁾	
	合 計	

1) 筆頭著者もしくは責任著者（corresponding author）については10点，それ以外の共同発表の場合は5点とする。

2) レフリー制度が整っている学術誌に限る。

3) IUTOX 定期総会（ICT），ASIATOX 定期総会，SOT 年会，EUROTOX 年会，日本安全性薬理研究会，日本衛生学会，日本環境変異原学会，日本産業衛生学会，日本獣医学会，日本実験動物学会，日本製薬医学会，日本先天異常学会，日本中毒学会，日本毒性病理学会，日本内分泌攪乱化学物質学会，日本免疫毒性学会，日本薬学会，日本薬物動態学会，日本薬理学会，JSOT に設置された部会の学術集会

4) JSOT 生涯教育講習会等

Score Sheet of Eligibility for Admission to the Certification Examination

Please make sure that your total score is over 80, using following score sheet. Please refer to the appendix of "Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)", which is also described in the footnotes.

Please attach supporting documents to prove each scoring items: copy of published articles, certificates for academic conference and/or educational course attendance; abstracts for conference presentation (please add presented years of the conferences).

Please do not forget to write your name and affiliated institution below in this sheet.

Name:

Affiliated institution:

Category	Scoring item	Score
Article	Toxicology-related article ^{1), 2)}	
Academic activity	JSOT annual meeting	Presentation ¹⁾
		Attendance
	Annual meeting of toxicology-related academic society ³⁾	Presentation ¹⁾
		Attendance
Educational course	JSOT fundamental education course	
	Course/Seminar sponsored or approved by JSOT ⁴⁾	
Total		

1) Ten points awarded for the first author or corresponding author, and 5 points for authors of joint publications.

2) Journals should be limited to those having a peer-review system.

3) IUTOX International Congress of Toxicology (ICT), ASIATOX regular general meeting, SOT annual meeting, EUROTOX annual meeting, Congresses of Japanese Safety Pharmacology Society, The Japanese Society for Hygiene, The Japanese Environmental Mutagen Society, Japan Society for Occupational Health, The Japanese Society of Veterinary Science, Japanese Association for Laboratory Animal Science, The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine, The Japanese Teratology Society, Japanese Society for Clinical Toxicology, Japanese Society of Toxicologic Pathology, Japan Society of Endocrine Disruptors Research, The Japanese Society of Immunotoxicology, The Pharmaceutical Society of Japan, The Japanese Society for the Study of Xenobiotics, The Japanese Pharmacological Society, and Scientific meetings organized by JSOT subcommittee

4) E.g., JSOT continuing education course

第 49 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 6 報)

(年会ホームページ: <https://www.jsot2022.jp/>)

※本年会は現地開催となります。

1. 会 期
2022 年 6 月 30 日 (木) ~ 7 月 2 日 (土)
2. 会 場
札幌コンベンションセンター
〒 003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1
TEL : 011-817-1010
URL : <https://www.sora-scc.jp/>
3. テーマ
One Health と毒性学
4. 年会長
石塚真由美
(北海道大学大学院獣医学研究院 環境獣医学分野毒性学教室)
5. プログラム委員 (敬称略・五十音順)
鈴木 睦 (協和キリン (株))
高橋 祐次 (国立医薬品食品衛生研究所)
広瀬 明彦 (国立医薬品食品衛生研究所)
吉成 浩一 (静岡県立大学)
6. 特別企画 (予定, 敬称略)
 - 1) 第 19 回市民公開セミナー
テーマ: 「絶滅の危機に瀕した猛禽類との共生を目指して~鉛弾に起因する鉛中毒との長い戦い~」
日 時: 2022 年 7 月 3 日 (日) 13:30 ~ 15:00
会 場: 北海道大学大学院獣医学研究院講堂
講 師: 齊藤 慶輔 (猛禽類医学研究所)
 - 2) 年会長招待講演
「ワンヘルスを推進するための環境毒性学の可能性」
岩田 久人 (愛媛大学沿岸環境科学研究センター)
 - 3) 特別講演
「メチル水銀の胎児影響」
坂本 峰至 (環境省 国立水俣病総合研究センター)
 - 4) 教育講演
 - (1) 「生命科学としての医薬品安全性評価」
堀井 郁夫 (ファイザー)
 - (2) 「人新世における環境毒性学」
渡辺 知保
(長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (NCGM サテライト))
 - (3) 「コロナ禍におきたワクチン開発研究の破壊的イノベーションとレギュレーション革命」
石井 健
(東京大学医科学研究所ワクチン科学分野)
 - (4) 「Global Assessment of the Impacts of Pharmaceutical Pollution」
Alistair Boxall (University of York, UK)
- 5) シンポジウム
 - (1) 拡大する MPS 研究 - 「魔の川」と「死の谷」を越えて
 - (2) ノックアウトマウスのオンターゲット毒性情報を候補化合物の開発にどのように結びつけるのか - 事例紹介
 - (3) 遺伝毒性研究のフロントライン: ゲノム不安定性の制御を見据えたハザードの同定とそのリスク評価
 - (4) 臨床・非臨床横断的な CDISC 標準データの新薬開発におけるさらなる利活用を目指して
 - (5) 【KSOT-JSOT 合同シンポジウム】肺毒性に関する最新研究
 - (6) 環境生物に対する化学物質の影響評価
 - (7) 【日本毒性病理学会合同シンポジウム】 rasH2-Tg(tg/wt) マウスを用いたがん原性評価
 - (8) 薬剤安全性に関する個体差研究
 - (9) 未解決問題 - 抗体療法におけるサイトカイン放出症候群 -
 - (10) ナノマテリアルの新規評価手法の発展
 - (11) 【日本癌学会合同シンポジウム】発がん性評価法の分子背景と展望 2.0 - エピゲノム, 変異シグネチャーから見たヒト外挿考察 -
 - (12) 【日本中毒学会合同シンポジウム】バイタルサインをモニタリングするための最先端技術の基礎と臨床
 - (13) 計算機科学を活用したヒトの有害事象研究の現状と展望
 - (14) サリドマイド研究の新展開: 代謝から種差を説明する
 - (15) 概日リズムを考慮した毒性学: 「時間毒性学」
 - (16) 遺伝子・細胞治療薬開発とその安全性評価
 - (17) 我が国における新規試験法開発大型プロジェクトの成果と今後の進展
 - (18) 生体金属部会シンポジウム: ~ヒ素の毒性発現機序の解明に向けた挑戦~
 - (19) マイクロサンプリングの現状と展望

- (20) 子供の毒性学：脳高次機能の形成異常の諸要因
- (21) 医薬品の投与と授乳に関するリスク評価及びリスクコミュニケーション
- (22) 動物試験 up to date ~ Outreach と Well-being の視点から~
- (23) COVID-19 重症化・後遺症のリスク管理と対策
- (24) ダイオキシン類およびダイオキシン受容体の発生毒性学の新たな展開
- (25) International symposium : Anti-Drug Conjugates (ADCs), Exosomes - Perspectives from Researchers and Regulatory Scientists on these new Modalities of Drug Delivery
- (26) 先進的 in vitro ヒト外挿モデルの安全性研究への応用
- (27) 次世代研究セミナー：法医学と毒性学の新たな邂逅
- (28) 生体金属部会シンポジウム：~若手研究者による毒性学研究を支える元素分析の最先端~
- (29) 若手研究者による野生動物毒性評価最前線
- (30) 精度の高い発達神経毒性評価を目指した研究アプローチ
- (31) リードアクロス研究の新機軸：安全性評価・規制利用からドラッグリポジショニングへ
- (32) 「ケース・バイ・ケース」で考えるバイオ医薬品の非臨床安全性評価への新たなアプローチ
- (33) 【SOT-JSOT 合同シンポジウム】 Latest insight into metal toxicity at the molecular level
- (34) 近位尿細管上皮細胞の三次元培養モデルの有用性-腎薬物動態・毒性の予測を目指して-
- (35) 次世代の実験動物として小型魚類（ゼブラフィッシュ・メダカ）の可能性-毒性研究の新たな役割
- (36) 食品安全に資する食品・食品添加物の健康影響評価と品質評価法の基盤開発
- (37) 精巣毒性・精子機能評価の新展開-身の回りの環境要因との関わりとヒトへの外挿を目指して-
- (38) 近年の眼科領域における医薬品応用と毒性評価
- (39) 化学物質による免疫毒性：毒性発現機序と生体防御機構
- (40) 動物実験の3Rsの更なる進展に向けて
- (41) AIが牽引する生物学の展望と毒性学
- (42) ヒト用医薬品の環境リスク評価研究の進展と将来展望
- (43) 周産期の甲状腺機能低下による次世代影響
- (44) 毒性試験では検出が困難な臨床副作用-非臨床からの新たなアプローチ その2（各論）
- (45) ICH E14/S7B Q&A の最新情報と評価戦略に関する新展開

6) ワークショップ

- (1) 創薬・開発安全性研究を牽引する in vitro 研究の現状
- (2) 毒性試験では検出が困難な臨床副作用-非臨床からの新たなアプローチ その1（総論）

- (3) 新規治療モダリティの first-in-human 臨床試験の初回用量設定における安全性又は有効性からの観点
- (4) エクスボソームの新戦略
- (5) 新毒性質問箱：医薬品開発初期における非臨床安全性評価の現状と課題を語り合う~PMDA と開発企業、点と点を結ぶ新たな挑戦~
- (6) トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム 座談会：トキシコロジストにとっての学位とは？
- (7) 小児用医薬品開発における非臨床試験の課題

7. 一般演題

- 1) 一般演題は口演またはポスター発表とします。口演の発表時間は8分、討論4分の12分です。発表方法は液晶プロジェクターのみです。ポスター発表は、毎日貼替えてポスター展示を行い、途中に質疑応答時間を設けます。

◆ポスター発表 質疑・応答（コアタイム）

- 6月30日（木）17：30～18：30
- 7月1日（金）16：50～17：35
- 7月2日（土）13：00～13：45

ポスターは縦 180cm、横 90cm 以下のサイズで作成して下さい。

詳細は年会ホームページに掲載いたします。

2) 優秀研究発表賞応募演題

応募者はポスター発表に加え、別会場で口頭発表（4分）と質疑応答（2分）を第1日目（6月30日（木））に行っていただきます。発表データ（PowerPoint）は、年会当日受付いたします。受賞者の発表は第2日目、授賞式は第3日目に行います。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

3) 学生ポスター発表賞応募演題

審査はポスター発表内容のみで行います。対象のポスターは第1日目（6月30日（木））に掲示し、受賞者の発表は第2日目、授賞式は第3日目に行います。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

8. 参加登録および参加費

5月12日（木）より当日参加登録料金での申し込みを開始いたしました。参加登録は引き続きオンラインにてご登録可能となっております。

参加申込締切日：

2022年7月2日（土）14時

1) 参加費

※学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税（消費税込）」となります。

カテゴリー	当日参加登録
会員	14,000 円
学生会員	4,000 円
関連学会会員 *1	15,000 円
非会員	17,000 円
懇親会費（一般）	10,000 円
懇親会費（学生）	2,000 円

*1 次の学会会員の方です。(50音順)

共催：日本中毒学会
 日本毒性病理学会
 日本免疫毒性学会
 日本薬理学会
 米国 SOT (Society of Toxicology)

協賛：日本安全性薬理研究会
 日本医薬品情報学会
 日本衛生学会
 日本環境化学会
 日本環境毒性学会
 日本環境変異原ゲノム学会
 日本産業衛生学会
 日本実験動物学会
 日本獣医学会
 日本食品衛生学会
 日本食品化学学会
 日本先天異常学会
 日本動物実験代替法学会
 環境ホルモン学会(日本内分泌攪乱化学物質学会)
 日本薬学会
 日本薬物動態学会
 比較眼科学会

2) お支払い方法

- ・クレジットカード
- ※決済等の詳細については、年会ホームページをご確認下さい。
- ※年会参加費には、下記が含まれます。
- ・年会参加証（領収証付）
- ・年会プログラム集（冊子体）※会場で配布予定
- ・年会プログラム要旨集（PDF）※冊子体はございません。
- ※懇親会費には、下記が含まれます。
- ・懇親会参加証（領収証付）

9. 懇親会

次の通り懇親会を開催いたしますので、是非ご参加下さい。

日時：2022年7月1日（金）18：45～

場所：サッポロビール園

<https://www.sapporo-bier-garten.jp/>

10. 展示、ランチョンセミナーなどの募集

展示、ランチョンセミナー、広告掲載を募集します。詳細については年会ホームページをご覧ください。

11. 年会事務局

〒060-0818 札幌市北区北18条西9丁目

北海道大学大学院獣医学研究院 環境獣医科学分野 毒性学教室

事務局長：中山 翔太

E-mail：secretariat@jsot2022.jp

第 48 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 48 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500 円（1 部）

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号
④第 47 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
株式会社毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-mail：jsothq@jsot.jp

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

特に重要な変更があった場合は、毒性学ニュースで周知を図ることとします。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞）選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会貢献賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam. Toxicol. Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

新しい発見を 変わらない品質で

私たち日本クレアは、生命のあらゆる可能性を探求し発展させる基盤として、動物愛護のグローバルな視点に立った世界最高品質の実験動物を提供して参ります。



マウス・ラット・マーモセット

● クローズドコロニー

- マウス** Jcl:ICR
- ラット** Jcl:SD, Jcl:Wistar
Br/Han:WIST@Jcl(GALAS)

● 近交種

- マウス** C3H/HeNjcl, C3H/HeJjcl*
C57BL/6Njcl, C57BL/6Jjcl*
BALB/cAjcl, BALB/cByJjcl*
FVB/Njcl, DBA/2Jjcl*, 129^{+Ter}/Svjcl
- ラット** F344/Jcl

● ハイブリッド系

- マウス** B6C3F1/Jcl, B6D2F1/Jcl
MCH(ICR)/Jcl (Multi Cross Hybrid)

● 疾患モデル

免疫不全モデル

- マウス** BALB/cAjcl-*nu*
C.B-17/ICr-*scid* Jcl
NOD/Shijic-*scid* Jcl
ALY[®]/Nscjcl-*aly*

- ラット** F344/Njcl-*rnu*

1型糖尿病モデル

- マウス** NOD/Shijcl

2型糖尿病モデル

- マウス** KK/Tajcl, KK-A^y/Tajcl
BKS.Cg-*m*+/*Lepr^{db}*/Jcl*

- ラット** GK/Jcl, SDT/Jcl, SDT fatty/Jcl

アスコルビン酸合成能欠如モデル

- ラット** ODS/Shijcl-*od*

● 疾患モデル

網膜変性疾患モデル

- ラット** RCS/Jcl-*rdy*

関節リウマチモデル

- マウス** SKG/Jcl

外用保湿剤・外用殺菌消毒薬効果検証モデル

- マウス** NOA/Jcl

● 遺伝子改変動物

短期発ガン性試験モデル

- マウス** CByB6F1-Tg (HRAS)2Jic

乳腺がん高感受性モデル

- ラット** Hras128/Jcl

脾がん短期発ガンモデル

- ラット** Kras301/Jcl

生体恒常性維持機構解析モデル

- マウス** *α*-Klotho KO/Jcl

- マウス** *klotho*/Jcl

アレルギーモデル

- マウス** OVA-IgE/Jcl (卵アレルギー)
TNP-IgE/Jcl (化学物質アレルギー)

● Germ free

- マウス** MCH(ICR)/Jcl [Gf], C57BL/6Njcl [Gf]
BALB/cAjcl [Gf]

● コモンマーモセット

- Jcl:C.Marmoset(Jic) (国内生産)

その他の取り扱い動物

● (公財) 実験動物中央研究所維持系統

● フェレット (輸入販売)

生産地：中華人民共和国／輸入販売代理店
(株)野村事務所を通じて国内販売

実験動物用飼料

一般動物用飼料／家畜・家禽試験用飼料／放射線減菌飼料／特殊配合飼料／成分分析

器具・器材

飼育ケージ／飼育機・ラック／自動飼育システム／クリーンエアシステム／バイオハザード対策システム／空調設備・排水処理システム／管理・実験機器／施設計画コンサルティング

受託業務

微生物学的クリーニング／遺伝子改変マウスの作製／モノクローナル抗体作製／受精卵採取・凍結処理／凍結受精卵の供給／系統維持及び生産／各種処置動物作出／マイクロバイオーム研究のサポート(無菌動物・ノトバイオームマウス作製および受託試験)／各種受託試験 他

関連業務

動物輸出入／微生物モニタリング／遺伝モニタリング／各種データ／情報サービス

業務提携

Physiogenex社(仏)：代謝性疾患領域に特化した薬効薬理試験受託サービス
(株)ジーピーシー研究所：イメージングマウスの作製サービス

* This substrain is at least (a number>20 by definition) generations removed from the originating JAX® Mice strain and has NOT been re-infused with pedigreed stock from The Jackson Laboratory.®



www.CLEA-Japan.com

東京 A D 部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7050(代)
大阪 A D 部	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7101(代)
【動物・飼料のご注文先: AD受注センター TEL.03-5704-7123】		
東京器材部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7600(代)
大阪器材部	〒564-9953 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7105(代)
札幌出張所	〒063-0849 札幌市西区八軒九条西10-4-28	TEL.011-631-2725(代)
仙台出張所	〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目30-24	TEL.022-352-4417(代)

医薬品開発のトータルサポート

探索試験

前臨床試験

臨床試験

申請対応

- 開発段階に応じた試験の実施 -

例： 非臨床探索、GLP、臨床開発（薬物濃度測定）

- ワンストップサービス -

毒性、薬物動態、薬効薬理、非臨床コンサルティング・メディカルライティング

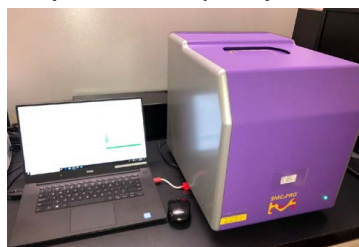
豊富な経験と実績

- 年間500試験を超えるバイオ医薬品の受託実績
- 各種バイオマーカーの測定と評価

LSRFortessa X-20
(BD Biosciences)



SMCxPRO
(Merck Millipore)



TRIPLE QUAD 7500
(AB SCIEX)



- AAALAC International（国際実験動物ケア評価認証協会）
在外子会社を含め全ての施設で完全認証を継続
- FDA IND/NDA電子化申請対応（CDISC SEND）



お問い合わせ先
株式会社新日本科学



ケー・イー・シーでは医薬品の研究・開発にお使いいただける
細胞・ヒト由来試料を取扱っております

研究用試薬

▶ HepaRG®・初代肝細胞

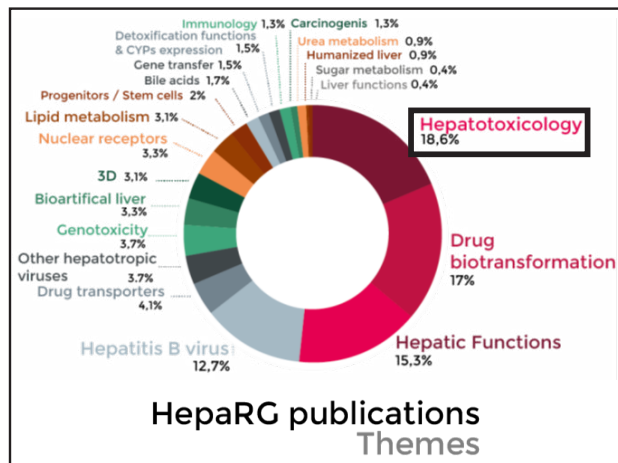
HepaRG®は、BIOPREDIC International社がライセンスを保有するヒト肝細胞セルラインです。肝細胞様形態を呈し、各種肝機能を保持・発現しており、ヒト初代肝細胞の代替ツールとして毒性試験および薬物動態などに広く利用されています。

【HepaRG®は様々な毒性評価に使用可能！】

- ①ミトコンドリア毒性の評価
- ②反応性代謝物による肝毒性評価
- ③炭水化物および脂質代謝評価
- ④胆汁うっ滞の評価

■ HepaRG®を使用した論文が多数発表されている中、
毒性試験で多く使用されています！

また、弊社ではBIOPREDIC International社をはじめとして、
様々なメーカーで調製された品質の良い初代肝細胞
(ヒト、ラット、イヌ、サル等) もご用意しております。



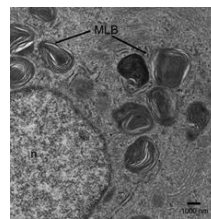
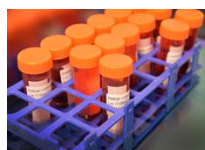
▶ ECACC標準株細胞・核酸製品

欧州最大の公的セルバンクであるECACCのセルリソース（標準株細胞・核酸製品）を、
KAC独自のサービスとともに、面倒な手続きなし*でお届けしています。

*：一部の細胞は、提供にあたり確認審査が必要になります。

【メリット！】

- ①スタンダードな株細胞は国内に常時在庫
- ②プラス5,000円で、培養状態での提供可能
- ③幾つかの起眠が難しい細胞はKACが代行
- ④KACによる迅速な技術サポート体制



▶ 肝毒性・腎毒性評価の受託試験

薬物トランスポーター研究のパイオニアであるSOLVO Biotechnology社にて、
肝毒性・腎毒性評価試験などのサービスの提供も行っております。

【試験例】

- ①代謝が遅い化合物の肝毒性評価（ヒト、サル、ラット、イヌ）
(HepatoPac®：初代肝細胞と間質細胞のマイクロパターン共培養にて評価)
- ②早期腎障害バイオマーカーパネルを用いた腎毒性の可能性の評価 等





<https://www.saibou.jp/>

▶これらの製品情報を細胞.jpでお調べ頂けます



株式会社 ケーイーシー

<https://www.kacnet.co.jp/>

お問い合わせ先

試薬事業部

TEL:06-6435-9747 FAX:06-6435-9748

e-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp

SLCの実験動物



マウス

- **アウトブリード**
Slc : ddy
NCS
Slc : ICR
- **インブリード**
DBA/1 JmsSlc(コラーゲン薬物誘導関節炎)
BALB/cCrSlc
C57BL/6NcrSlc-C57BL/6JmsSlc
C3H/HeSlc
C3H/HeNSlc
C3H/HeYokSlc
DBA/2CrSlc
NZW/NSlc
A/JmsSlc
AKR/NSlc
NC/NgaSlc(薬物・アレルギー誘導アトピー性皮膚炎)
CBA/Nslc
129x1/SvJmsSlc
- **B10コンジェニック**
C57BL/10SnSlc
B10.A/SgSnSlc・B10.BR/SgSnSlc
B10.D2/nSgSnSlc・B10.S/SgSlc
- **ハイブリード**
B6D2F1/Slc(Slc:BDF1)
CB6F1/Slc(Slc:CBF1)
CD2F1/Slc(Slc:CDF1)
B6C3F1/Slc(Slc:B6C3F1)
※上記以外の系統については御相談ください。
- **ヌードマウス(ミュータント系)**
BALB/cSlc-*nu*(*Foxn1^{nu}*)
KSN/Slc(*Foxn1^{nu}*)
- **疾患モデル**
BXSb/MpJmsSlc-*Yaa*(自己免疫疾患)
C3H/HeJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas^{lpr}*)
C57BL/6JmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas^{lpr}*)
MRL/MpJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas^{lpr}*)
NZB/NSlc(自己免疫疾患)
NZBWF1/Slc(自己免疫疾患)
WBB6F1/Ki-*Ki^{tr}/Ki^{tr}*-*g*Slc(肥満細胞欠損症-*Ki^{tr}/Ki^{tr}*-*g*)
NC/Nga(皮膚炎)
☆ Hos : HR-1(ヘアレスマウス)
☆ Hos : HRM-2(メラニン保有ヘアレスマウス)
★ SAMR1/TaSlc(SAMP系対照動物)
★ SAMP1/SkuSlc(老化アミロイド症)
★ SAMP6/TaSlc(老年性骨粗鬆症)
★ SAMP8/TaSlc(学習記憶障害)
★ SAMP10/TaldrSlc(脳萎縮・うつ様行動)

- ★ SAMP10-ΔSgl2 (SGLT2発現による腎性糖尿・脳萎縮を伴う学習記憶障害・うつ様行動)
- ★ AKITA/Slc(糖尿病)
- ☆ TSD (2型糖尿病)
- C57BL/6JHamSlc-*ob/ob*(肥満・2型糖尿病-*Lepr^{ob}*)
- ☆ C57BLKS/*ob-4*-*Lepr^{ob}*/*4*-*Lepr^{ob}*(肥満・2型糖尿病-*Lepr^{ob}*)
- ☆ NSY/Hos(2型糖尿病)
- C57BL/6JHamSlc-*A^{+/+}*(肥満)
- ★ Daruna(肥満)
- ★ HIGA/NscSlc(1gA腎症)
- ★ B6.KOR/StmSlc-Apoe^{0/0}(アポE欠損高脂血症-Apoe^{0/0})
- ★ C.KOR/StmSlc-Apoe^{0/0}(アポE欠損高脂血症-Apoe^{0/0})
- ★ C.KOR/StmSlc-Traf3ip2^{0/0}(アトピー性皮膚炎マウス-Traf3ip2^{0/0})

ラット

- **アウトブリード**
Slc : SD
Slc : Wistar
Slc : Wistar/ST
Hos : Donryu
☆ lar : Wistar(Wistar-Imamichi)
☆ lar : Long-Evans
- **インブリード**
F344/NSlc
WKAH/HkmSlc
BN/SnSlc
DA/Slc(薬物誘導性関節炎)
LEW/SaNSlc(薬物誘導性関節炎)
- **ヌードラット(ミュータント)**
Slc : Long-Evans-*rnulrnu*
- **疾患モデル**
★ SHR/izm(高血圧)
★ SHRSP/izm(脳卒中)
★ WKY/izm(SHR/izmのコントロール)
★ SHRSP/Dmcr(NASHモデル[HFC飼料給餌])
★ SHR/NDmcr-*cp/cp*(肥満・糖尿・高血圧-*Lepr^{cp}*)
★ SHRSP/Ezo(AD/HD)
★ SHRSP/Idmcr-*fa/fa*(肥満・高血圧・脳血管障害-*Lepr^{fa}*)
DIR/EisSlc(食塩感受性高血圧症)
Slc : Zucker-*fa/fa*(肥満-*Lepr^{fa}*)
☆ Hos : ZFD-*Lepr^{fa}*(糖尿・肥満)
HWY/Slc(ヘアレスラット)
☆ Hos : OLETF(2型糖尿病)
☆ Hos : LETO(OLETFのコントロール)

モルモット

- **アウトブリード**
Slc : Hartley
- **疾患モデル**
J2N-k(心筋症モデル)
J2N-n(J2N-kのコントロール)

ハムスター

- **アウトブリード**
Slc : Syrian
- **疾患モデル**
J2N-k(心筋症モデル)
J2N-n(J2N-kのコントロール)

スナネズミ

- **インブリード**
MON/Jms/GbsSlc
- **無菌動物**
- **インブリード**
F344/NSlc(GF)
☆ Tsl : C57BL/Ncr

ENVIGO(旧ハランOEM生物動物)

- **アウトブリードラット**
RecHan® : WIST
- **インブリードマウス**
CBA/CaOlaHsd
- **免疫不全モルモット**
C.B-17/*TcfHsd-Prkdc^{scid}*

遺伝子改変動物

- **アルツハイマー病モデル(認知症関連モデル)**
★ APP^{osk}-Tg[C57BL/6-Tg(APP^{osk})](認知症モデル)
★ Tau609 Tg[C57BL/6-Tg(*tau609*)](認知症モデル)
★ Tau784 Tg[C57BL/6-Tg(*tau784*)](認知症モデル)
★ APP^{wt}-Tg[C57BL/6-Tg(APP^{wt})]
★ Tau264 Tg[C57BL/6-Tg(*tau264*)]
→ *APP*インマウス
★ OSK-KI[C57BL/6-Tg(OSK-KI)](認知症モデル)
- **EGFPモデル**
● **マウス**
C57BL/6-Tg(CAG-EGFP)(グリーンマウス)
● **ヌードマウス**
C57BL/6-BALB/c-*nu/nu*-EGFP(EGFP全身発現ヌードマウス)
● **ラット**
SD-Tg(CAG-EGFP)(グリーンラット)

ウサギ

- **アウトブリード**
Slc : JW/CSK
Slc : NZW

gpt deltaモデル

- **マウス**
C57BL/6JmsSlc-Tg(*gpt delta*)
- **ラット**
F344/NSlc-Tg(*gpt delta*)

その他(Conventional動物)

- **ビーグル犬**
☆ 国内繁殖生産(一財動物繁殖研究所)
- **マイクロミニビッグ**
☆ 国内繁殖生産(富士マイクラ株式会社)
- **ミニブタ**
☆ 国内繁殖生産
[日生研株式会社・NPO法人 医用ミニブタ研究所]
☆ 医学用ペーパークラ(大ヨークシャー)
☆ (静岡県畜産技術研究所 中小家畜研究センター)
- **フェレット**
自家繁殖生産(中伊豆支所)
- **コモンマーモセット**
自家繁殖生産(中伊豆支所)

受注生産動物

- **マウス**
- **疾患モデル**
C57BL/6 JHamSlc-*bg/bg*(NK細胞活性低下)
CTS/Shi(免疫不全・白内障)
(NZW×BXSb)F1/Slc(紫斑症)

ラット

- **インブリード**
ACI/NSlc
- **疾患モデル**
GK/Slc(2型糖尿病)
FH/HamSlc(国内セロトニン系の機能不全)
★ F344/NSlc-Apoe^{0/0}(大腸癌易誘発)
Gunn/Slc-*jjj*(高ビリルビン血症)

モルモット

- **アウトブリード**
Hos : Weiser-Maples(メラニン保有)

ウサギ

- **アウトブリード**
Slc : JWF-NIBS(ヘアレス)
★ 印は受注生産動物、☆印は仕入販売動物です。



日本エス エル シー株式会社
〒431-1103 静岡県浜松市西区湖東町3371-8
TEL(053)486-3178代 FAX(053)486-3156
<http://www.jslc.co.jp/>

営業専用
TEL

関東エリア (053)486-3155代
関西エリア (053)486-3157代
九州エリア (0942)41-1656代

一般社団法人 日本毒性学会

【名誉会員】

今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣	池田 正之
加藤 隆一	井村 伸正	佐藤 哲男	渡辺 民朗
高橋 道人	榎本 眞	小野寺 威	遠藤 仁
菅野 盛夫	黒川 雄二	鎌滝 哲也	赤堀 文昭
土井 邦雄	長尾 拓	福島 昭治	津田 修治
吉田 武美	堀井 郁夫	大野 泰雄	上野 光一
山添 康			

【功労会員】

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	大沢 基保	今井 清	降矢 強
玄番 宗一	唐木 英明	仮家 公夫	暮部 勝
野村 護	牧 栄二	三森 国敏	佐神 文郎
遠山 千春	小野寺博志	杉本 哲朗	西田 信之
中村 和市	永沼 章	姫野誠一郎	眞鍋 淳
安仁屋洋子	横井 毅		

【賛助会員】

(五十音順)

●ダイヤモンド

(株)新日本科学

●プラチナ

第一三共(株)

●ゴールド

旭化成ファーマ(株)

アステラス製薬(株)

EAファーマ(株)

エーザイ(株)

大塚製薬(株)

花王(株)

科研製薬(株)

協和キリン(株)

三栄源エフ・エフ・アイ(株)

(株)三和化学研究所

(株)資生堂

住友化学(株)

ゼリア新薬工業(株)

大正製薬(株)

大鵬薬品工業(株)

田辺三菱製薬(株)

帝人ファーマ(株)

トーアエイヨー(株)

(一社)日本化学工業協会

日本新薬(株)

富士フイルム(株)

(株)ボゾリサーチセンター

持田製薬(株)

ライオン(株)

Charles River

あすか製薬(株)

(株)安評センター

(株)イナリサーチ

(株)LSIM 安全科学研究所

小野薬品工業(株)

一般財団法人化学物質評価研究機構

杏林製薬(株)

興和(株)

サントリ- MONOZUKURI エキスパート(株)

塩野義製薬(株)

シミックファーマサイエンス(株)

(一財)生物科学安全研究所

千寿製薬(株)

大日本住友製薬(株)

武田薬品工業(株)

中外製薬(株)

(株)DIMS 医科学研究所

東レ(株)

日本香料工業会

ファイザー(株)

扶桑薬品工業(株)

Meiji Seika ファルマ(株)

(株)薬物安全性試験センター

【委員会】(2020～2021年度)

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

●総務委員会	委員長	高橋 祐次
◆連携小委員会	委員長	北嶋 聡
◆評議員選考小委員会	委員長	佐藤 雅彦
◆名誉会員および功労会員選考委員会	委員長	高橋 祐次
◆指針値検討小委員会	委員長	広瀬 明彦
◆企画戦略小委員会	委員長	宮脇 出

●財務委員会	委員長	青木 豊彦
	副委員長	森 和彦

●編集委員会	委員長	鍛冶 利幸
	副委員長	古武弥一郎
◆JTS編集委員会	委員長	鍛冶 利幸
	副委員長	古武弥一郎
◆FTS編集委員会	委員長	永沼 章
◆Executive Editor 小委員会	委員長	永沼 章
◆田邊賞選考小委員会	委員長	吉成 浩一

●教育委員会	委員長	鈴木 睦
◆生涯教育小委員会	委員長	鈴木 睦
◆基礎講習会小委員会	委員長	橋本 清弘
◆認定試験小委員会	委員長	福島 民雄
	アドバイザー	古川 賢

●学術広報委員会	委員長	児玉 晃孝
◆学会賞等選考小委員会	委員長	堀井 郁夫
◆佐藤哲男賞選考小委員会	委員長	熊谷 嘉人
◆特別賞等選考小委員会	委員長	熊谷 嘉人
◆技術賞選考小委員会	委員長	宮脇 出
◆日化協 LRI 賞選考小委員会	委員長	北嶋 聡
◆学術小委員会	委員長	石塚真由美
◆広報小委員会・HP 担当	委員長	児玉 晃孝

★その他関連の委員会

○IUTOX 担当	IUTOX Executive Committee, Director	熊谷 嘉人
	IUTOX Nominating Committee, Chair	菅野 純
○ASIATOX 担当	ASIATOX Council	小椋 康光
○日本学術会議担当	委員	石塚真由美

【役員】(2020～2021年度)

理事長	菅野 純		
理事	青木 豊彦	上原 孝	小野 敦
	鍛冶 利幸	北嶋 聡	熊谷 嘉人
	古武弥一郎	児玉 晃孝	小林 章男
	佐藤 雅彦	鈴木 睦	高橋 祐次
	角崎 英志	苗代 一郎	平林 容子
	藤原 泰之	宮脇 出	森 和彦
	吉成 浩一		
監事	天野 幸紀		
	務台 衛		

【学術年会長】

第49回 (2022年) 石塚真由美
 第50回 (2023年) 北嶋 聡
 第51回 (2024年) 上原 孝

2022年6月1日 印刷

2022年6月1日 発行

発行人 菅野 純

編集人 鍛冶利幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsothq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社 センキョウ

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161